

## 駅ビルをにぎわい交流複合施設として整備した取組 (山口県周南市)

### 【支援措置】

- A 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業) 国土交通省 [国費率 1/2]  
B 中心市街地再活性化特別対策事業 総務省 [元利償還金の30%を特別交付税により措置]

### 【事業費】

約5,515百万円

市の玄関口やまちの顔であり、交通結節点である徳山駅前旧徳山駅ビル解体跡地に、市が賑わいや交流の創出を図る拠点として民間活力導入図書館、市民活動支援センター、飲食施設等から構成される複合施設を整備した。

書店・カフェ等と一体的に運営する民間のノウハウを活かした図書館を核に、展望スペース、休憩・待合等の交流スペース、地域情報・行政サービス等のスペース、飲食施設、交番などの機能を持つ複合施設により、市民サービスの向上、中心市街地の活性化につなげることを目的として整備し、平成30年2月にオープンした。

「このまちへ来る人へのおもてなしの場」「このまちに住んでいる人たちの居場所」「人が集い楽しむこのまちの賑わいと交流の場」をコンセプトとして整備し、施設内部の賑わいを市街地に伝えられるよう、透明感のあるファサードとした。年中無休で夜遅くまで利用可能な施設運営を行うとともに、民間ならではのイベント等を企画・実施し、施設利用者のサービス向上につなげている。また、中心市街地のイベントへの参加など、地域連携や中心市街地活性化に資する取り組みも行っている。

オープン以来、当初計画していた年間来館者数120万人を上回る年間200万人を達成。駅に隣接するビルを民間が運営する図書館を核として整備することで、多くの市民、来街者が滞留する中心市街地活性化の拠点ができ、大幅な歩行者通行量、新規出店数の増加につながっている。(歩行者通行量H29年12月25, 063人⇒H30年3月33, 268人 新規出店数H29年11月139店舗⇒H30年3月152店舗)

今後は、徳山駅前地区第一種市街地再開発事業により整備予定の商店街内の核施設との連携による周辺商店街への波及効果や回遊性の向上を目指す。

【計画書の事業名】賑わい交流施設整備事業

<パブリックビューイングの様子>



(整備前)



(整備後)

